

秋田労災病院外来診療のご案内

平成28年10月1日現在

受付時間	初診 8:15～11:00			再診 8:15～11:30	
曜日	月	火	水	木	金
診療科					
内科 〔予約制〕	佐々木	佐々木 熊谷	佐々木 熊谷 (睡眠時無呼吸 外来は要確認)	佐々木 熊谷	熊谷 秋田大学〔～12時〕
糖尿病・代謝内科 〔予約制〕	八代	八代	休診	八代	八代
内科(循環器) 〔予約制〕	休診	休診	休診	診療応援医師 〔13時30分～17時〕要確認	休診
呼吸器・アレルギー外来 〔予約制〕	診療応援医師 〔～12時〕	休診	診療応援医師 〔診療日は要確認〕	診療応援医師 〔診療日は要確認〕	休診
消化器科 〔内視鏡検査予約制〕	診療応援医師	休診	診療応援医師	休診	休診
総合診療・ 検査診断科	休診	秋田大学 〔診療日は要確認〕	休診	休診	休診
外科	阿部	佐藤	阿部	佐藤	阿部
皮膚科	休診	弘前大学	休診	休診	弘前大学
整形外科	千葉 奥山 〔～10時〕 木戸 関 佐々木 〔10時～12時〕	奥山 佐々木 (秋田大学)	木戸 阿部 (秋田大学)	関 加茂 (秋田大学)	千葉 奥山 木戸 関 〔～10時〕 加茂 〔10時～12時〕
スポーツ外来 〔予約制〕 受付 14時～16時	休診	休診	休診	休診	関
神経内科 〔予約制〕 受付 13時～15時	休診	休診	休診	診療応援医師 〔13時30分～〕	休診
脳神経外科	神里	井上	井上	神里	秋田大学
泌尿器科	休診	診療応援医師 〔診療日は要確認〕	休診	秋田大学 〔診療日は要確認〕	休診
眼科 〔予約制〕	休診	休診	診療応援医師	休診	休診
耳鼻咽喉科	休診	休診	休診	秋田大学〔～12時〕	休診
歯科口腔外科	大淵	大淵	大淵	大淵	秋田大学

◎ 診療日等、都合により変更する場合があります。

※ 整形外科千葉副院長の診療は不定期になる場合があります。あらかじめご了承ください。

～秋田労災病院の理念～

当院は、勤労者や地域の人々の健康増進と疾病の予防・治療に取り組み、患者様の人権を尊重し、あたたかく、思いやりのある安全な医療を提供します。

「治療就労両立支援部」とは…

当院では脳卒中の**治療・リハビリ**と就労（職場復帰）の両側面から患者様を支援させていただきます。患者様のサポートは、**復職コーディネーター**が中心となって医師・看護師・リハビリスタッフ等で構成された**両立支援チーム**が協働で関わっていく部署です。

お問い合わせ先

独立行政法人労働者健康安全機構

秋田労災病院 地域医療連携室

〒018-5604 秋田県大館市軽井沢字下岱30
TEL 0186(52)3131(内線2782) / FAX 0186(47)7611

診療科目

内科、糖尿病・代謝内科、消化器科、総合診療・検査診断科、外科、整形外科、神経内科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、健康診断部、勤労者背椎・腰痛センター、スポーツ外来、治療就労両立支援部

当院HP <http://www.akita.h.johas.go.jp>

当院facebook <https://www.facebook.com/AkitaRosai>

当院Twitter https://twitter.com/Akita_Rosai

秋田労災病院

検索

地域医療連携誌に御意見・御要望がございましたら御連絡ください。

独立行政法人 労働者健康安全機構



秋田労災病院

～地域医療連携室だより～



2016.10 発行



地域医療連携室のご案内

当院では、紹介患者の受付と院内各部署との連絡調整、他の医療機関との連絡と情報交換などを中心に、病診・病病連携の充実をはかっております。中でも、紹介元医療機関から予め患者情報を入手し、受診すべき診療科・医師とスケジュール調整をする紹介システムを導入しております。

もくじ

- 栄養管理室の特色 栄養管理室 室長 木村節子—2
- 秋田労災病院で学んだ「腰椎椎間板ヘルニア」 副院長 リハビリテーション科部長 地域連携室長 千葉光穂—3
- 外来診療のご案内 —4

栄養管理室の特色

栄養管理室 室長 木村 節子

栄養管理室では、「安全・安心な食事、治療効果のある美味しい食事の提供」という理念の下、委託業者のスタッフとともに業務を行っています。

私たちは患者様の栄養改善を図ることを目的に、栄養状態の評価を行い、個々の患者様の性別や年齢はもちろんですが、患者様の状態（摂取能力、病状、病態）に合わせた食事の提供、栄養サポートをしています。1日に普通食から特別治療食まで約450食の食事を提供しています。食事アレルギーや、低栄養の方、褥瘡のある方、食欲低下の方に対しさまざまな工夫をし、可能な限り食のニーズに応えるようにするなど患者様のQOLの向上や栄養状態の改善に貢献すべき日々奮闘しています。

献立はサイクルメニューですが、病院食をもっと美味しく楽しみにしてもらえよう、年間25回あまりの行事食と、季節ごとに旬の食材を採用した内容とし、季節を感じてもらえるような工夫もしています。入院患者様のお誕生日には「早く元気になってほしい」という気持ちをこめて、ささやかなメッセージカードを添えています。

栄養指導については、糖尿病や脂質異常症、高血圧、腎臓病など食事療法が必要な患者様に医師の指示により「栄養食事指導」を実施しています。食事療法について説明し食生活の改善、継続に向けて支援を行っています。ご希望の方は、主治医にお気軽にご相談下さい。

病院での食事は治療の一つであり、楽しみの一つだと思っています。今後も栄養管理を行う上で最も大切な「安全・安心な食事、治療効果のある美味しい食事の提供」を常に念頭に置きながら、すべての患者様に満足していただけるよう栄養管理室一丸となって喜ばれる病院食をめざしていききたいと思っています。



バランスの良い食事の基本





乳製品、果物、野菜入りの汁物を1日1回適量

副菜
野菜、海藻類、きのこ類など、主にビタミン、ミネラル、食物繊維の供給源

主菜
肉、魚、卵、大豆、大豆製品など、主にたんぱく質の供給源

主食
ごはん、パン、めん類などの穀類など、主に炭水化物の供給源

秋田労災病院で学んだ「腰椎椎間板ヘルニア」



副院長 リハビリテーション科部長 地域連携室長 千葉 光穂

秋田労災病院は昭和28年、内科・外科・整形外科3診療科で開設され、今年で63年目を迎えています。整形外科は昭和58年、秋田大学より派遣されるようになりました。翌年の昭和59年に阿部栄二先生が初代部長として赴任。まさにブルドーザーの活躍で現在の秋田労災病院の礎を築いてくれました。

私は昭和62年に赴任し、早30年目を迎えています。赴任した時に驚いたのは、すでに顕微鏡視下ヘルニア摘出術が行われていました。また初診時に腰椎CTを撮影し、その日の内にヘルニアや脊柱管狭窄症の診断ができていました。

秋田労災病院ではたくさんのヘルニア手術を経験しました。顕微鏡視下ヘルニア摘出術、外側ヘルニア（脊柱管外ヘルニア）、背側脱出ヘルニア、ガス含有ヘルニア等です。

「顕微鏡視下（マイクロ）ヘルニア摘出術」は明るい術野、愛護的手術操作、最小限の手術操作などの利点があります。マイクロ法では改善率90.2%、出血量7g、手術時間80.4分と良好な成績が得られました。しかし、LOVE法（通常の手術）と術後成績、症状の改善の早さなどでは、有意差は認められませんでした。落合直之先生は皮切の大きさが異なっても内部の展開はある意味、同侵襲であると述べられています。

外側ヘルニアは1974年Macnabによりfailed back surgeryの2例報告が最初でした。診断が難しく、秋田県の風土病と言われたこともあります。外側ヘルニアにより、L3神経根症状の特徴もわかりました。膝内側の疼痛や知覚障害はL4神経根症状ではほとんど認められませんでした。L3神経根症状ではほぼ全例に認められています。ヘルニアには様々な顔があり、興味深い疾患の一つです。

秋田労災病院では現在も当日に腰椎CTを行い、診断し、症状が続く場合は、積極的に手術治療を行っています。腰痛や下肢痛などで困っている症例があれば、紹介して頂きたいと思っています。今後とも宜しくお願いいたします。

